

日本農村カデザイン大学 7月学期

怯えの時代をどう生きるか

～不安、喪失から希望を踏み出す～

先の見えない時代に直面して、明るい未来を迎えるには？人と社会といかにつながり、自在な暮らしをデザインし、実践するかを学びます。そして、ぬくもりのある社会を考えていきます。

■日程

平成22年7月17日（土）13：30～7月19日（月・祝）13：00

■場所

池田町能楽の里文化交流会館

ファームハウス・コムニタ（夕食・宿泊場所）

■スケジュール

1日目午後

風の課「怯えの時代」とは？（内山節氏）

講演・質疑

〔ファームハウス・コムニタでの夕食交流会〕

2日目午前

ディスカッション「怯えの時代」をどう生きるか？

午後

風の課「今なぜ『希望』学なのか」（玄田有史氏）

講演・質疑

〔ファームハウス・コムニタでの夕食交流会〕

3日目午前

車座ディスカッション「あたたかな未来を拓く」

（問題提起：内山節氏・玄田有史氏／コーディネーター：伊藤洋子氏）

■受講料

定員まで聴講生を募集します。料金は15,000円です。（食事代等は14,000円）。なお、1日のみの受講は、1日5,000円です。

【内山 節さんのプロフィール】

哲学者。

東京都生まれ。NPO 法人「森づくりフォーラム」代表理事。東京と群馬県の山村・上野村とのあいだを往復しながら、存在論、労働存在論、自然哲学、時間存在論を軸とした哲学の研究をすすめる。著書に「自然と労働」（農文協）、「『里』という思想」（新潮社）、「怯えの時代」（新潮選書）など。

【玄田 有史さんのプロフィール】

東京大学社会科学研究所教授。

島根県生まれ。専攻は労働経済学。2002年より現職。「仕事のなかの曖昧な不安」（中央公論新社、2001年、日経・経済図書文化賞受賞、サントリー学芸賞受賞）、「働く過剰」（NTT出版、2005年）、新刊「人間に格はない」（ミネルヴァ書房、2010年）など、若者や雇用に関する著書多数。2005年より、東大社研が進めている希望学プロジェクトのリーダーを務め、2009年に「希望学」全4巻を刊行。2009年からは福井県で希望学の地域調査を実施している。

■申込先

910-2524 福井県今立郡池田町土合皿尾2-27-1

日本農村カデザイン大学事務局

電話 090-2124-8100(清水) FAX0778-44-9088

e-mail iked@c-nord.com

7 学期申込書 (F A X : 0778-44-9088)

■お名前 ()

■ご住所 (〒)

■連絡先 (携帯・TEL FAX)

■池田町までの交通手段 (電車 (武生駅への送迎あり) / お車)

■出席の状況

1 日目 講義 (出 / 欠)

夕食 (要 / 不要)

宿泊 (要 / 不要) ※朝食がついています。

2 日目 講義 (午前中) (出 / 欠)

昼食 (要 / 不要)

講義 (午後) (出 / 欠)

夕食 (要 / 不要)

宿泊 (要 / 不要) ※朝食がついています。

3 日目 ディスカッション (出 / 欠)

昼食 (要 / 不要)